
猫岳の話 本当は怖い日本むかしばなし

山之口 博道

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

猫岳の話 本当は怖い日本むかしばなし

【Nコード】

N3578H

【作者名】

山之口 博道

【あらすじ】

昔、熊本県は阿蘇の近くに猫岳という山があったそうなの。

むかーしのことじゃった。熊本県は阿蘇岳の近くに猫岳という山があつたそうナ。

あるひのことじゃった。そのふもとを旅行く若者がおつたそうナ。

日も暮れて、山道を行くと、次第に山は深く、荒涼たる風景が広がってきたそうナ。

やがて日もとつぷりと暮れて、困惑していると、彼方に明かりが見えたそうナ。

やれうれしやと、近づくと大きなお屋敷があつたそうナ。

『こんばんわ、もしもし、今晚一晚とめてくれませんか？』

すると奥から「はい」と声がして女中さんがあらわれたそうナ。
『どうぞ。こんなところでよかつたらおとまりください』

やれよかつたと案内されるままに入っていくとそこは大きなお屋敷だつたそうナ。

部屋に着くと、じょちゆうさんは『どうぞお風呂でもお入りください』という。

若者は早速、湯屋へいそいだ。

その途中廊下で独りの女中とすれちがつたそうナ。

女中は若者を一目見るなりアット声を上げて引きとめ

『何でこんなところに来たのです。ココは人間の来るところではありませんよ』という。

ゾツとした若者は、「一体お前はだれだね？」とたずねると。

『私は5年前貴方に親切にしてもらった隣の猫です。餌をくれたり優しくしてくれましたよね』
というのである。

『ココは猫の世界なのです。ココで食ったり湯に入ったりすれば毛がはえて猫にされてしまうのですよ。早くおにげなさい』という。

若者は恐ろしくなり一目散に屋敷を逃げ出した。

気付いた猫たちは手に手に湯ひしゃくを持って形相も恐ろしく追いかけてくる。

湯をかけて猫にしようというのである。

命からがら何とか逃げ帰った若者であったが、湯が掛かった、耳の後ろにはなんと、

三毛色の猫の毛が生えていたという。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3578h/>

猫岳の話 本当は怖い日本むかしばなし

2010年10月10日04時46分発行